

岡山県医師会学術奨励賞受賞講演 並びに日本医師会生涯教育講座

日時：令和2年2月8日（土）14：30～17：55

場所：岡山県医師会館 三木記念ホール（岡山市北区駅元町19-2）

14：35～15：45

座長 岡山県医師会常任理事 藤本 政明

1. 「緩和薬剤の使い方」

岡山大学大学院ヘルスシステム統合科学 研究科 特任教授

岡山大学病院 緩和支援医療科

松岡 順治 先生

緩和ケアとは、治癒の不可能な疾病における多職種によって行われる全人的なケアとされています。ハイデッカーは「存在と時間」のなかで、人間は死に向かって進む存在であると述べています。言い換えれば我々は疾病のあるとないに関わらず緩和ケアを受けるべき存在であると言えます。考えてみれば、進歩を続けてきた医療は多くの命を救ってきましたが、その医療をもってしても治癒が得られない疾病が多く存在します。例えば慢性の心不全、腎不全、がんの多く、認知症などは治癒を目指す医療がその目的を達成しえない疾患です。あるいは老化もそうかもしれません。我々は医療に何を求めるのでしょうか？我々が医療に求めるのは「疾病のなかった時に戻して欲しい、我々の日常を取り戻して欲しい」ということではないでしょうか。そのための医療とはどのようなものでしょうか？それは日常生活を送るために全人的存在を取り戻すこと、日常生活を阻む様々な症状をとること、日常生活を過ごすことの支援をすることだと思えます。緩和ケアを行うのは緩和医療専門医のみではありません。医療の本質を考えると、すべての人にすべての医療関係者が症状コントロールを行う緩和ケアを行うべきであります。

今回は症状をコントロールしQOLを高めるための薬物療法についてそのコツと考え方を概説します。

15：45～16：30

座長 岡山県医師会常任理事 合地 明

岡山県医師会学術奨励賞受賞講演（3名 各15分）

1) 川崎医科大学大学院組織培養・免疫系分野リウマチ分子病態解析学

辻 尚子 先生

2) 岡山ろうさい病院循環器内科医長

江尻健太郎 先生

3) 岡山大学大学院医歯薬学総合研究科血液・腫瘍・呼吸器内科学

榎本 剛 先生

16：40～17：50

座長 岡山県医師会副会長 清水 信義

2. 「遺伝性のがん—地域医療としての遺伝医療とがん予防について—」

岡山大学大学院医歯薬学総合研究科 臨床遺伝子医療学 教授 平沢 晃 先生

がんの約1割は遺伝が原因であることが知られています。遺伝性腫瘍家系発見のきっかけにはプライマリケア医が重要な立場になります。患者さんに家庭でがんや遺伝のことを話しあってもらうことは、将来の岡山におけるがん予防につながる第一歩です。

・お申込みは不要です（※託児をご希望の方は1月31日（金）までに岡山県医師会へお申込みください）。

・医師以外の職種の方のご参加も大歓迎です。

・会員専用駐車場は台数に限りがございますので公共交通機関をご利用ください。

※研修会当日（2月8日）の連絡先：岡山県医師会 ☎ 086-250-5111（代表）

気象警報の発表等により、やむを得ず研修会を中止する場合があります。中止する場合は、岡山県医師会ホームページ及び休日夜間自動音声案内：☎ 086-230-7180でお知らせいたします。

★日医生涯教育講座 2.5単位

カリキュラムコード（cc）

講演1・・・1.0単位（cc81）終末期のケア

学術奨励賞受賞講演・・・0.5単位（cc 1）医師のプロフェッショナリズム

講演2・・・1.0単位（cc11）予防と保健

主催 公益社団法人 岡山県医師会
住所 〒700-0024 岡山市北区駅元町19-2
TEL 086-250-5111
FAX 086-251-6622
MAIL oma@po.okayama.med.or.jp